

▼別ショットの写真



今月の表紙は、8月15日に行われた夏休み子ども農業体験教室での1枚です。若手農家で組織する幸田町青年農業会

が主催し、参加した小学生28人が農家さんのナスとブドウのハウスの収穫体験を楽しみました。

みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報グループ
☎62-1111 (内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

今月の表紙

日本壮心流剣詩舞道 君星会



私たちは、111周年を迎えた日本壮心流剣詩舞道の君星会の仲間です。年1回町民会館つばきホールで「吟剣詩舞の集い」を開き、練習の成果を発表します。

練習会場は大草区のコミュニティホームや中央公民館などです。会員は、保育園から始めた子どもが今は中学生や高校生になっています。また、75歳から始めた人もいます。

剣詩舞を続けていると、姿勢が良く若く見えると思います。難し

そうに見えますが、練習を重ねれば、皆さん、すてきな姿で舞えるようになります。3歳から90歳代まで楽しめるのが剣詩舞です。いつまでも元気で美しくいたい人にぴったりです。また、大和魂や武士道精神、日本の伝統芸能を楽しむことができます。興味がある人は、ぜひ一緒にやってみませんか。

連絡先 日本壮心流剣詩舞道
君星会 会長 鈴木 君星(文枝)
☎090-2575-0124

サークル紹介

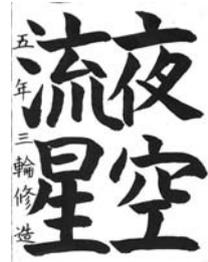
この指とまれ 162

みんなの作品展!

「第40回 幸田学童書道展」からのセレクトです。



幸田中 3年
志賀 有美 さん



坂崎小 5年
三輪 修造 くん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

「ねづら」

10月22日は町民大運動会。今年も「参加するのに、意義がある」でしたよね……
「よ一言わんわ。いつも優勝ねづらっつるに」

「何言っているの。いつでも優勝を狙っているよ」
という意味です。

「ねづら」は「ねづらう」に「つ」が入っただけですが、使われているのは、愛知県や岐阜県に限られるようです。三重県から京都、大阪府にかけては「ねがける」と言い、中国、四国には「ねんがける」、「めんがける」と言ったり地方もあり、これらは「目掛ける」が転じたものと想像できます。「ねづらう」も、「目づらう」が転じたものとするれば、「づらう」とは何なのでしょうか。

「べづらう」となる動詞に、「論(あげつら)」「つ」があります。これは、「言挙(ことあ)げ」の「挙げ」に、動作や状態が強く長く続くことを表す「づらう」が付いたものだそうです。「このことから、ねづらう」も、もとは「強く長く標的を見続ける」意味の「見づらう」で、これが転じて「目づらう」になり、さらに転じたのが「ねづらう」だと考えられます。

このように、「ねづらう」は、「ねらう」に「つ」が入ってなったのではなく、むしろ、「ねづらう」の「つ」が欠落して「ねらう」になったのかもしれない。

(文・つひね)



青春トークリレー

△△第295走者△△

さとう るきや
佐藤 瑠希也 さん

里区在住 21歳 職業 学生
血液型 A型 身長 170cm
好きな芸能人 まつおか まゆ 松岡 茉優

近年、発展著しい幸田町。宅地の開発が進み、新しい店舗なども増えており、住みやすいまちになってきているように感じています。

一方で、自分が幼いころ過ごしてきた豊かな自然が失われてきているのではないかと心配もあります。私は山に囲まれ自然豊かな幸田町が大好きで、良いまちだと思っています。発展し過ぎることで、この良さが失われてしまわないように、若い自分たちが幸田町の豊かな自然を守っていかねばいけないと考えています。

そして、私はこれからも幸田町の自然を愛し続け、緑に囲まれた環境で生活していきたいと思えます。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
企画政策課までご連絡ください。
本人のご家族にお渡しできます。



環境だより VOL.39

もったいない! 「食品ロス」

「食品ロス」とは?

食品ロスとは、まだ食べられるのに関わらず捨てられてしまう食品のことです。

「食品ロス」の現状

日本では、年間約2,800万トンの食品廃棄物が出されています。このうち、まだ食べられるのに捨てられた、いわゆる「食品ロス」は年間621万トンです。

日本人1人あたりに換算するとお茶碗1杯分(約134g)の食べ物が毎日捨てられていることとなります(農林水産省及び環境省「平成26年度推計」より)。

町のホームページで、家庭でできる食品ロスの削減について紹介していますので、ぜひご覧ください。



▲役場庁舎内の食堂に掲示中の食品ロスの削減を呼びかける啓発チラシ

問合せ 環境課 環境保全グループ (内線272) FAX 63-5169

ちょっと編集者のひびく

子どもを寝かしつけようと急いで帰宅したら「パパが早く帰ってきたせいで、ママに寝かせてもらえない」と苦情を言われてしまった編集者のKです。

9月に入って急に涼しくなり、朝晩も冷え込んでめっきり秋らしくなってきた今日この頃ですが、皆さん夏の楽しい思い出はできましたか?

私が思い出すのは夏休み子ども農業体験教室です。町内の若手農家さんたちが自分たちのハウスで育てたナスとブドウの収穫を体験させてくれます。そして、収穫体験の後のお楽しみが萩の不動ヶ滝で農家さんと参加した小学生全員で一緒に行うカレー作りです。みんなで一緒に大鍋で作ったカレーは最高においしかったです(私は食べたのですが...)。ごちそうさまでした。

そんなわけで、夏で食欲が低下して体重も低下する予定が、なぜか増量してしまった私と同じような人は、10月22日に幸田中央公園で開催する町民大運動会で爽やかな汗を流し、スリムな体を手に入れましょう! 本番に向けて徐々に体を動かす、けがをせずに楽しい秋の1日を過ごせますように。(K)